

令和4年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン

＜ 図工 ＞

学年	現状分析	具体的な授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動では、つくりながら考えたり、様々な方法を試したりする様子が見られる。 ・手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前半は造形遊びを多く取り入れ、感覚や気持ちを生かしながらかついたり、体全体を働かせ、表し方を生み出したりすることにより、創造的についたり表したりできるようにする。 ・児童がいろいろな材料に触れ、材料を扱う楽しさや面白さを味わえるようにし、表現への関心や意欲をもてるようにする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・体全体を使って、表す活動に、意欲的に取り組んでいる。 ・活動中の基本的な学習規律を身に付けさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前半は造形遊びを多めに設定し、感覚や気持ちを生かしながらかついたり創造的に表すことができるようにする。また、友達と関わる場面を取り入れ、造形的な面白さや楽しさを見たり感じたりすることから、楽しく発想や構想をしたり感じ方を広げたりできるようにする。 ・どの場面においてもおさえるべき約束や規律を確認し、身に付けさせる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・手や体全体を使いながら表す活動に意欲的に取り組んでいる。 ・新しい用具や材料にもすすんで関わり、表し方を生みだそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試しながらかついたり、次第に表したいことが明確になるような題材を多く取り入れたりとすることで、発想を自由に広げていけるようにする。また、自然に相互鑑賞ができるように設定し、いろいろな表し方やよさ、面白さが感じ取れるようにする。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の活動や作品に非常に興味があり、よく鑑賞し、自分の感じ方を広げたことを生かして活動をしている。新しい用具や材料にも進んで関わり、表し方を生みだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりや鑑賞をしたことを生かして活動が広がっていくような題材を設定し、新たな発想や構想をしたり、自分の見方や感じ方を広げたりできるようにする。また、表したいことの多様性にも柔軟な対応をしていくことで、活動そのものに夢中になれるようにする。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の活動や作品に非常に興味があり、よく鑑賞し、それを生かして活動をしている。新しい用具や材料にもすすんで関わり、表し方を生みだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の表したいことを実現できるように、自分の感覚や今までの経験、新たな材料や用具を総合的に生かせる題材を多く設定する。相互鑑賞が行えるような場を多く設定し、表現の意図や特徴などを捉えられるようにする。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・未経験の材料や技法等に特に興味をもって活動に取り組んでいる。あらかじめ表したいことを決めてそれに向かって積み上げていくよりも、自由に発想をしたり、つくりながら考えを広げたりすることを好む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験や技能、新しい経験を総合的に生かせる手ごたえのある活動をすることで、新鮮な喜びを感じながら活動できるようにする。また、相互鑑賞の場を工夫し自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。

